

## 島田市立総合医療センター 腎臓内科 臨床研究に関する情報の公開

作成日：2022/05/12

|  |  |
|--|--|
| 1.研究課題名                                      | 経皮的腹膜透析留置術の確立  |
| 2.研究機関の名称・研究責任者の氏名                           | 島田市立総合医療センター 腎臓内科 野垣文昭   |
| 3.倫理委員会承認番号                                  | 平成 29 年第1号   |
| 4.研究実施期間                                     | 2017 年から   |
| 5.研究目的と意義                                    | わが国の特徴として、腹膜透析導入率が諸外国に比べ低いことと腹膜透析カテーテル留置のほとんどが開腹術による外科的留置術で施行されていることがあげられます。海外では腹腔穿刺による経皮的腹膜透析カテーテル留置術が広く行われています。同留置法の特徴は、患者さまへは、局所麻酔で施行でき切開創も小さいため、低侵襲性であることと、内科医にとっては、腹膜の切開や縫合といった外科的技術は必要なく、比較的取り組みやすい手技ということです。わが国でも経皮的留置術が広まれば、腹膜透析が現状よりも導入しやすくなることが期待できるのではないかと思います。 |
| 6.対象   | 当院腎臓内科受診中の慢性腎不全患者さまで経皮的留置術に同意をいただいた方   |
| 7.倫理面での配慮<br>個人情報保護の方法<br>など                 | ご提供いただいた方の個人情報が漏えいすることがないように適切に管理します。研究辞退のお申し出をされても、診療上の不利益を被ることはありません。  |
| 8.結果の公表について                                  | この研究によって成果が得られた場合は、国内外の学術集会・学術雑誌、メディアなどで公表します。その際にも、ご提供いただいた方の個人情報が明らかになることはありません。   |
| 9. 研究資金・利益相反                                 | 研究費は使用しません。開示すべき利益相反はありません。  |
| 10. 研究対象者および<br>その関係者からの求め<br>や相談等への対応<br>方法 | 連絡先：島田市立総合医療センター 腎臓内科<br>TEL 0547-35-2111<br>主治医もしくは<br>腎臓内科説明担当代表医師：野垣文昭  |